



# Hamburg Trio

理想的な三者のバランス感覚が生む  
親密な音楽。「いい演奏」というものが  
どういうものか、彼らの音楽を聴けば  
きっとわかる

サンクトペテルブルクにて(2018年6月)



2013年10月、ブラームスのピアノ三重奏曲の共演をきっかけにハンブルクで結成。この演奏はインターネットでライブ中継された。その後、ハンブルクを拠点にベルリン、カッセル、マインツなどドイツ各地で活動。新聞などで高い評価を受け、ZDF(ドイツ国営第二放送)、NDR(北ドイツ放送)に出演。毎年作曲家ごとの全曲ピアノ三重奏曲を録音し、国内外でコンサートを行うことをコンセプトに活動している(2015年ブラームス、2016-17年シューマン、2018年メンデルスゾーン)。

2018年1月にはベルリンとハンブルクでベートーヴェンのトリプルコンチェルトを演奏し話題となった。5月にはサンクトペテルブルクのフィルハーモニーホール、リュブリャナ音楽祭、ウーゼドム音楽祭に招待されている。

日本では2015年に「ブラームス ピアノ三重奏曲全曲演奏会」を開催し、NHK FM「ベスト オブ クラシック」で放送された。またNHK AM「すっぴん！」に出演、生演奏を披露し反響をよんだ。2017年の2度目の来日では「シューマン ピアノ三重奏曲全曲演奏会+四重奏曲+五重奏曲」を開催した。これまでにブラームスのピアノ三重奏曲全曲を収録した「Brahmsiade」をリリース。

## 塩貝 みつる Mitsuru Shiogai ヴァイオリン

桐朋学園大学ソリスト・ディプロマ修了。原田幸一郎、篠崎史紀、堀正文の各氏に師事。2004年よりハンブルク国立フィルハーモニー管弦楽団、並びにハンブルク国立歌劇場の第1ヴァイオリン首席アシリエット・コンサートマスター。NDRエルプフィル、シュトゥットガルト放送響、バイエルン歌劇場などで客演する。ソリストとしてもウィーン交響楽団、ハンブルク国立フィルハーモニー管弦楽団などと協演している。2015年元日に、バッハのソナタがドイツの主要ラジオ局で生放送された。現在は国内に拠点を移し、ゲストコンサートマスターとしてソロ、室内楽、オーケストラと、日本と欧州で活躍している。

## ヴィタウタス・ゾンデキス Vytautas Sondeckis チェロ

リトアニア出身。1997年より、NDRエルプフィルハーモニー管弦楽団ソロチェリスト。サンクトペテルブルク音楽院で、故アナトリー・ニキーチン教授のもとで研鑽を積み、その後リュエベック音楽院にて、デイビット・ゲリンガス氏に師事。97年ニュージーランドでの国際チェロコンクールで優勝。ソロ、室内楽奏者として世界の主要なホールで客演。ソロアルバム「Romantic Music for Cello and Orchestra」(ナクソス/ゲリンガス氏指揮)はル・モンド・ドゥ・ラ・ムジーク誌のショック賞を受賞。2001年、サンフランシスコのラジオ放送局KDFCより「世界トップアーティスト30人」に選出された。



## エバーハルト・ハーゼンフラッツ Eberhard Hasenfratz ピアノ

ドイツ生まれ。国内外の数々のコンクールに入賞。アルフォンス・コンタルスキー、セルジュ・コロ、マーティン・ロヴェット、ヘンリー・マイヤー(ラサール四重奏団)、ノーマン・シェトラの各氏による数々の国際マスターコースで助手を務める。現在はベルリン芸術大学にて教鞭を執りながら室内楽奏者としても活躍している。2006年よりハンブルク近郊の「室内楽の友、クイックボーン」コンサートシリーズのディレクター、2010年よりハンブルクの教会の教会音楽家に就任し、2011年には同教会での室内楽シリーズ「ブランケネーザー・コンチェルテ」を開始した。

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

### 宗次フレンズ 会員募集

会員登録していただいたフレンズ会員様は  
一般発売より先行してチケットをご購入頂けます

### 会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

交通アクセス  
地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック



名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008  
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716  
E-mail info@munetsuguhall.com  
URL www.munetsuguhall.com  
宗次ホールチケットセンター  
営業時間:10:00 ~ 16:00  
※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業